一、自己紹介

　　　　初めまして、郝　豆豆と申します。受験番号は○○です。2018年大学四年生の時、日本に来て広島大学に留学しました。そして、2019年6月に卒業して、同年の8月から名古屋で仕事し始めました。今は三菱関係会社の社員です。

二、志望動機

　　　　その理由は三つがあります。

　　　　まず、大学院を探した際に、私の研究計画書は貴学の伊藤先生の研究方向に合うと思いました。そして、伊藤先生の論文を拝見して考察しましたが、先生はインターネットの登場により、情報行動についての研究を展開していると分かりました。キーワードで先生の研究内容をまとめていると、それは広報論、情報行動論とCGMの情報環境分析などです。その研究内容に非常に興味を持っています。私は送り手の情報行動が送り手の広告に及ぼす影響を研究したいので、伊藤先生のご指導の下で研究する可能であれば、研究は進捗すると思っています。

　　　　また、北海道大学は国際性が高く、広報メディア・観光の教育と研究が日本一であることは間違いません。入学ができれば、専門的な指導を受けると思い、世界の色んな人との交流ができ、自分の視野も広げます。

　　　　さらに、内モンゴル出身の私は、雪がとても好きで、北海道のきれいな雪景色に憧れを持っています。

ということで、ぜひこのような環境で勉強や研究をしたいと思います。

三、今まで一番打ち込んだことはなんですか？（活動レポートと研究の関連）

　　　　BILIBIでUP主をした時のことです。UP主をやり始めたばかりの時に、ただやってみるつもりですが、あるコメントをもらい、非常に感動しました。その弾幕は「お姉さんは、動画の編集をよく頑張ったね」ということを言いました。そのコメントは当時、動画の視聴者が少なかった私を励ました。私はそのコメントに影響を与えされ、良い動画を作成し続きました。

四、研究のきっかけとは？

　　　　動画共有サービスで様々な動画を投稿し始めてから、広告主から依頼を受けて商品を紹介した経験は少しあります。私は動画の視聴率や視聴者からのコメントに気になって、それらによって自分の動画広告の内容と手法を変わったことがあります。それに従って、インターネットの登場により、私のようなオピニオン・リーダーは、ただ単一方向的に情報発信するだけではなく、受け手との双方向コミュニケーションが可能になり、影響を及ばされるかもしれないと考えました。ということで、受け手が送り手の広告思考方式にどんな影響を及ぼすのか考察したいです。

五、どのように計画書の仮説を出来たのですか。（＊）

六、研究方法を詳しく説明してください。

　　　　仮説1と2を検証するために、ネットアンケート調査とインタビュー調査を利用します。

ネットアンケートの調査対象は、100 人受け手である YouTube の視聴者100 人とます。また、インタビューの調査対象は、送り手である収益化の基準(チャンネル登録者は 1,000 人以上、直近 12 ヶ 月の総再生時間 4,000 時間以上必要)を満たす日本で住んでいる 20 代の YouTuber10 人とします。

本研究の仮説1とは、受け手が受け取る情報の爆発的増大であり、ソーシャルメディア広告は無理に広告の内容を押しつける効果が減少するのに対し、受け手は広告のクリエイティブとコンテンツの向上を要求するということです。

これを検証するためにアンケートの調査対象に「 同じ商品に対し、普通の広告よりも YouTuber 個性的な広告のほうが見たいと思う」という項目を聞き、5件法で回答してもらいます。また、インタビューの調査対象に、「動画の視聴回数を高め、高評価を求めるため、広告のコンテンツを向上しているか 」「広告のコンテンツを向上すると、動画広告の再生回数、評価の変化」を聞き、回答してもらいます。

仮説2とは.受け手のメディア・リテラシーの向上に伴い、YouTuberの広告の考え方には、広告の信頼度がさらに強調されるようになったということです。

これを検証するためにアンケートの調査対象に「大げさな表現をした YouTuber 広告や不実、悪質な YouTuber 広告を見分ける」「不実、悪質な広告を配信した YouTuber に対する信頼度を下げる 」という項目を聞き、5件法で回答してもらいます。また、インタビューの調査対象に「動画の視聴回数が少ない、低評価をつけられることが発生しないように、不実、悪質な広告の配信を慎重しているか」を聞き、回答してもらいます。

最後、調査した結果をまとめて、データ分析を行います。

　なんで受け手にアンケート調査します。

受け手はYouTuberと双方向のコミュニケーションを取っています。それによって、広告の効果を把握できる可能になりました。情報化社会で、受け手の現在の状態を把握した上で、受け手がインターネット広告に及ぼす影響の考察へ進めると思います。

七、先行研究を簡単にまとめてください。

八、先行研究の中に、気になるところがありますか。

九、どうして職を離れてまで大学院へ行くのですか。

　　　　大学院に入るのは私の夢です。大学を卒業した際に、自分の能力は不足と感じ、そのままで他の人と同じように大学院に入るのができないと思って、就職にしました。社会人になって、今の仕事から大変勉強になりました。落ち着いて物事を深く考えたり、ちゃんとスケジュールを守ったり、相手の気持ちを思いやったりして、自分をたくさん鍛えられました。そして、時間を立て今の私は興味を抱き分野で研究ができると思い、自分をチャレンジしたくようになりました。

十、将来進路

　　　　大学院で培った専門知識や研究方法を活用し、物事を深く考える力を身につけ、日本でPR会社に就職し広報業務を担当したいと考えています。

十一、何か質問がありますか。（相談したい）

　　　　今まで聞いた質問：

　　　　1.インターネットを利用する時に、先生たちは一番悩んでいることがありますか。

　　　　2.ポストコロナ時代に、メディアは観光回復に何か役を立てると思いますか。